
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2008年3月27日号

©2008年2月大豆市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2008年2月における大豆市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 1月の中国の大豆輸入は増加、大豆油輸入は減少

圧搾収益が比較的好く、政府の大豆輸入関税軽減政策などの影響もあって、2008年1月の中国の大豆輸入は引き続き増加し、前年比41.5%増の344.1万トンとなった。大豆輸出量は、1.5倍増の6.5万トンとなった。また、大豆油の輸入量は31.4%減の15.1万トン、大豆かす輸入量は78.4%増の2.3万トンとなった。大豆かすの輸出量は、30.8%減の6.2万トンとなった。

2 世界の大豆需給はひっ迫、大豆の国際価格上昇率は増大

米国農務省（USDA）の予測によると、2007/08年度の世界の大豆生産量は、前年度比6.6%減の2.2億トンと見積もられている。大豆消費量は4.8%増の2.36億トン、期末在庫量は25.7%減の4,582万トンとされ、世界の大豆需給はひっ迫するとみられている。また、2008年2月の国際大豆価格上昇率は増大した。2月29日における米国シカゴ取引所の大豆価格は1トン当たり553.4ドルで、前月比19.1%高、前年同月比89.0%高となった。大豆油は1,527.6ドルで、前月比28.2%高、前年同月比123.2%高となった。大豆粕は408ドルで、前月比9.4%高、前年同月比58.8%高となった。

3 国内大豆、大豆油および大豆価格はやや上昇

春節（旧正月）の消費増加および大豆・大豆油価格の大幅上昇などの影響により、2月の国産大豆価格は引き続き上昇したほか、大豆油および大豆かすの価格上昇率も増大した。2月下旬の黒龍江省における搾油用大豆の買付価格は1トン当たり4,648円で、前月比2.9%高、前年同月比70.9%高となった。山東省の四級大豆油の工場出荷価格は13,350円で、前月比8.5%高、前年同月比86.6%高となった。山東省の中等大豆かすの工場出荷価格は3,822円で、前月比5.0%高、前年同月比50.1%高となった。

これらから推計すると、2月下旬の山東地区の輸入大豆の通関渡し価格（Duty Paid：C I F＋関税等）は、当地の国産大豆の仕入価格に比べ、1トン当たり200元前後高かった。